

おでかけむーま号の **実証運行結果** をお知らせします

国際興業バス中藤・中沢線の見直しにより、昨年9月1日から飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」の実証運行がはじまり、今年8月をもって実証運行を終えました。地域の皆さんには日頃からご利用いただき、ありがとうございます。今回は、1年間の実証運行の結果と今年10月下旬に実施した乗込調査の結果をお知らせします。この先もおでかけむーま号が地域の安心、安全な移動手段として運行が続けられるよう、みんなで乗って、育てていきましょう。

運行概要 ※実証運行時のものです。現在の本格運行の内容と一部異なります。

飯能駅便



- 中沢～飯能駅
- 平日2便 土休日1.5便
- 朝に運行

原市場地区行政センター便



- 中沢～原市場地区行政センター
- 週3日(月・水・金)3便
- 昼に運行

新寺便



- 中沢～新寺
 - 平日5便※ 土休日3便
 - 夕方～夜に運行
- ※R5.9.1本格運行～ 平日4便運行

項目	実績
(1) 運行期間	令和4年9月1日～令和5年8月31日(1年間)
(2) 運行便数	5,636便(3系統の合計)
(3) 利用者数	15,869人(3系統の合計)
(4) 事故件数	0件

安全に運行されました!

大事な指標! 「便あたり利用者数」

どのくらいの人に使われているかをあらわす数字の「便あたり利用者数」を確認しましょう。「1便(片道)運行したときに平均して何人使うか」をあらわす数字です。各系統の合計は、下の表のとおり2.82人で、当初目標として設定した1.50人(往復3人)を上回っています。

系統	便あたり利用者数(人/便)	
飯能駅便	上り	11.06
	下り	3.06
原市場地区行政センター便	上り	3.76
	下り	2.23
新寺便	上り	0.46
	下り	1.57
合計	上り	3.60
	下り	2.00

目標値(1.50人)クリア!

2.82



課題や問題点の整理

実証運行の利用実績や、いつもご利用いただいている方、地域の方からの声などから「おでかけむーま号」の運行についての課題や問題点を以下のとおりまとめました。

① 利用者が少ない区間がある

「中藤（青石橋）」バス停から上の区間（中沢～戸丸）の便あたり利用者数が約0.03人、「新寺」バス停から原市場地区方面（尾長入口～原市場地区行政センター）の便あたり利用者数が約0.3人であり、比較的少ない傾向にあります。

② 新寺での乗り換えをより安全・便利に

現在、夕方から夜の時間帯は、FarEast様の駐車場の一角をお借りして大型バスからワゴン車に乗り換えをしてもらっていますが、用地が狭く、ワゴン車の出入庫がしづらい状況です。また、昼間の時間帯の新寺2番バス停への乗り換えのとき、横断歩道でなく車道を横断している姿も見られ、交通事故の危険性もあります。

③ お昼から夕方まで帰ってこられる便がない

昼過ぎの時間帯（正午～16時）に運行便の設定がなく、午前中におでかけした方が余裕をもって中藤地区に帰るのに不便な状況になっています。原市場小学校のスクールバス運行もありますが、不定期であることなどから定期便の設定を求めのご意見が多いです。

④ 実質値上げになった区間がある

おでかけむーま号の運行開始以降、新寺便を一律100円設定したことにより、大型バスに乗り換えて飯能駅周辺まで行く場合、運賃が実質値上げになった区間（野口～下郷）があります。

⑤ 運行経路や時刻表がわかりづらい（検索できない）

系統ごとに行先、運行日などが違っていて、大型バスとの接続などの関係から、特に高齢の方々が運行内容を理解するのが難しいという声が寄せられています。また、運行経路や時刻表が経路検索アプリなどで検索できない状態のため、今後、オープンデータ化を進める必要があります。



今後の予定 …皆さんからご意見をいただきながら運行内容の変更を検討します

今年9月から本格運行がはじまりましたが、これからもご利用しやすく、かつ持続的に運行ができるよう見直しを検討していきます。今回の各調査などの結果や皆さんからのご意見を踏まえながら、以下のスケジュールで運行内容の見直しを進めていきます。ぜひご意見をお寄せください。

時期（予定）	内容（変更になる可能性があります）
令和5年12月	みんなで考えようおでかけの足通信 発行 ▶意見募集
12月	第1回地区検討会 開催 ▶意見交換
～令和6年1月	運行内容検討、運行案決定
2月	第2回地区検討会 開催 ▶運行案報告
3月	みんなで考えようおでかけの足通信 発行 ▶運行案周知
3月	飯能市地域公共交通対策協議会（※）開催 ▶運行内容決定
9月	みんなで考えようおでかけの足通信 発行 ▶運行内容の変更周知
令和6年10月1日～	運行内容変更

今ここ

※飯能市地域公共交通対策協議会 … 飯能市の公共交通に関する重要な事項を審議する会議です。市内交通事業者のほか国、県、警察等の関係する行政機関、自治会連合会、商工会議所、観光協会などで構成されます。



便別の便あたり利用者数

●上り

便目	系統	平日		土休日	
		発時刻	便あたり利用者数	発時刻	便あたり利用者数
1	飯能駅便	6:20	※ 13.27 ^①	7:00	※ 6.59
2	飯能駅便	7:00		9:00	
3	原市場地区行政センター便	9:00	5.54		
4	原市場地区行政センター便	9:58	2.62		
5	原市場地区行政センター便	10:56	3.12		
6	新寺便	17:57	1.10 ^②	17:06	1.24 ^②
7	新寺便	18:37	0.41	17:56	0.31
8	新寺便	19:20	0.55	18:36	0.05
9	新寺便	20:00	0.02		
10	新寺便	20:41	0.05		

※飯能駅便は1便目、2便目の合算値

ポイント!

- ① 飯能駅便（平日）は朝の通勤・通学のための利用が多く（13.27人）、12人定員のワゴン車では対応できない状況です。
- ② 新寺便は、夕方から夜間にでかける方が少ないため、利用者は少数です。

●下り

便目	系統	平日		土休日	
		発時刻 【飯能駅方面からの接続時間】	便あたり利用者数	発時刻 【飯能駅方面からの接続時間】	便あたり利用者数
1	飯能駅便	6:24	※ 2.42	8:22	5.59 ^①
2	飯能駅便	7:12			
3	原市場地区行政センター便	9:29	0.31		
4	原市場地区行政センター便	10:27	0.31		
5	原市場地区行政センター便	11:38 ^③	6.06 ^②		
6	新寺便	17:38【接続 7分】	4.36	17:37【接続 5分】	1.36
7	新寺便	18:18【接続 16分】	0.97	18:17【接続 9分】	0.39
8	新寺便	18:58【接続 27分】	1.10	19:15【接続 5分】	0.88
9	新寺便	19:41【接続 6分】	2.37		
10	新寺便	20:21【接続 16分】	0.88		

※飯能駅便は1便目、2便目の合算値

ポイント!

- ① 飯能駅便は、平日より土休日の方が利用者数が多いです。これは、飯能駅周辺から飯能河原・天覧山エリアへの観光目的による利用が多いことが主な理由として挙げられます。
- ② 原市場地区行政センター便について、利用者が11:38便に集中しています（6.06人）。主に午前中の買い物・通院のために利用する方の帰り便として利用されています。
- ③ 新寺便について、飯能駅方面から来る大型バスからの接続時間が短い便（17:38便、19:41便）の利用が比較的多く、接続時間が10分を超える他の便は利用者が少ない傾向にあります。なお、接続時間についてはR5.9.1の本格運行の開始から改善されています。



乗込調査を実施しました

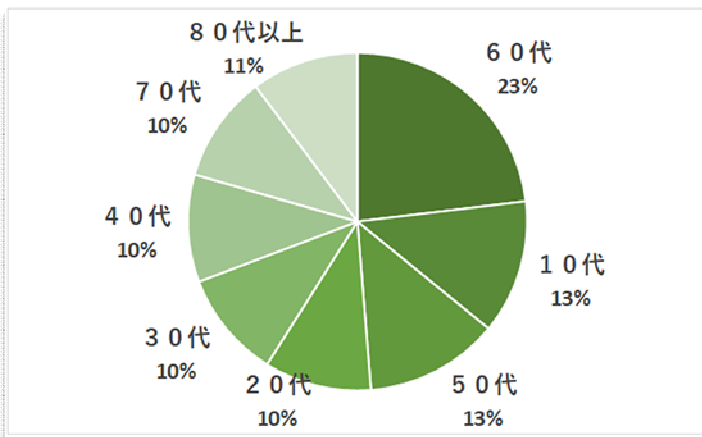
おでかけむーま号の利用状況をより細かく把握するため、乗込調査を実施しました。アンケートへのご回答、ありがとうございました！

●調査概要

調査日	10/23(月)、10/27(金)、10/29(日) 3日間
対象便	飯能駅便(大型バス)、原市場地区行政センター便(ワゴン)、新寺便(ワゴン)
実施方法	・調査員が車内で利用者※に調査票配付 ・受付期間中、車内に調査票吊り下げ配布 ※小学生以下、新寺～飯能駅区間利用者を除く
調査票受付期間	10/23(月)～11/8(水)
回答方法	①WEB 回答(電子申請) ②調査員への手渡し ③その他(郵送、FAX、メール)

▶調査票回収数：39 (うちWEB 回答：19)

●回答者 年代



▶各世代まんべんなく回答いただきました。

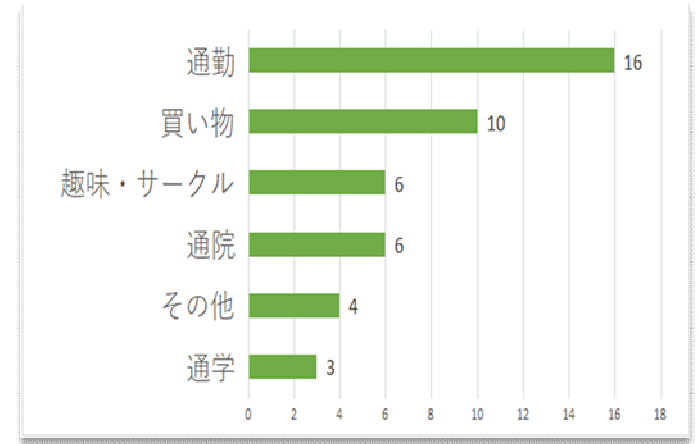


アンケートでいただいたご意見(要約・抜粋)

運行便の設定について

- 昼(正午～16時くらい)に運行便がなくて困っている。
※ 時間帯に差はありますが、昼の運行便設定について多くのご意見をいただきました。
- スクールバス運行予定を早めに周知してほしい。
- 西武池袋線との接続がぎりぎり、電車が遅延するとバスに乗れないことがある。
- 夕方～夜の新寺便について、下りを優先しているため仕方ないが、上り便の接続が悪い便がある。

●利用目的(複数回答可)



▶通勤利用が最も多く、続いて「買い物」が多い結果でした。その他は「別荘があるため」など。

●利用区間(乗降数調査の結果より)

利用者の乗り降りの停留所を確認し、どこで乗ってどこで降りたかの利用パターンを調査しました。

飯能駅便

【上り】中藤地区(中沢-新寺間)から乗車→まちなか(本町-飯能駅間)で降車が約65%。新寺を通過してから乗車→まちなか降車が約30%。その他約5%。
【下り】中藤地区(新寺から先)まで行く人が約60%。新寺以前で降車する人が約40%。

原市場地区行政センター便

【上り】約80%が新寺で降車しており、約20%が新寺を過ぎて原市場地区行政センター方面を利用している。

新寺便

【上り】全員が新寺で降車し、途中降車はなし。
【下り】ほぼ全員が新寺から乗車し、途中バス停からの乗車はほとんど見られない。

新寺での乗り換えについて

- 乗り換えのときに横断歩道を渡らずに、停車したバスの前後で車道を横断する姿が見られ、とても危険に感じる。
- 新寺4番バス停でも必ず停車してほしい。
- 雨がしのげるようにしてほしい。
- ベンチを増設してほしい。
- 接続の待ち時間の長いときは利用をためらってしまう。
- 本格運行から乗り換えがスムーズになり、とても助かっている。
- 新寺で待ち合わせしてくれるので安心。